



あさひやま
どうぶつえんだより

みに

だい
138
ごう

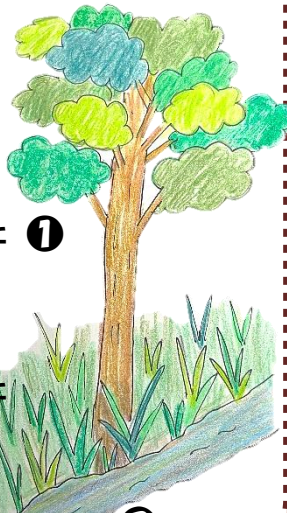
ボルネオ オランウータン

熱帯雨林の森にすむオランウータンはとても数が減っていて、近い将来、地球上から絶滅してしまう危険があるんだ。どうしてこんなにオランウータンが減ってしまったのでしょうか？

木が少なくなってきた ①

草が少なくなってきた ②

水が少なくなってきた ③



11/4、いしかわ動物園から旭山動物園にやってきたボルネオオランウータンの「ドーネ」は「モリト」のおよめさんになるためにやってきました。



屋内放飼場を
探検する「ドーネ」

北海道

モリト(森人)/オス

2007/7/30旭山動物園生まれ。

お父さんの「ジャック」は2024年に、

お母さんの「リアン」は2019年に亡くなりました。

妹の「モカ(森花)」(2015/2/5生まれ)は

11/7にいしかわ動物園に引っ越ししました。

お母さんの「リアン」が亡くなったあと、

まだまだお母さんが必要な子どものモカの

世話をしていた優しいオスです。

オスのほっぺたに出てくる

「フランジ」もりっぱになりました。

こたえ

こたえは「①木が少なくなってきた」だよ。森にすむオランウータンは高い木の枝に葉っぱをしいて、ベッドがわりにしているよ。ほとんど地上においてこないオランウータンは、高い木がないと生きていけないんだ。



オランウータンは、手と足で木の枝をにぎって移動することができるよ。

ドーネ/メス

旭川から飛行機で12時間かかる国、マレーシアのボルネオ島にある

「セビロック・リハビリテーション・センター」で保護され、

1999年にいしかわ動物園にやってきた1996年(推定)生まれのメス。

1990年代、ボルネオ島ではアブラヤシのプランテーション(大型農場)の開発がとて進んでいて、

多くの森が畑に変わっていきました。それと同時にたくさんのオランウータンの子どもが

親とはぐれてしまい、センターに保護されたそうです。

「ドーネ」はそんな悲しい生い立ちのある個体です。

ボルネオ島

